

クイーン倶楽部だより **2** 月号  
 2021年 第216号

**ERN** 有限会社エコ・ライス新潟  
 新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100  
 TEL 0258(66)0070  
 FAX 0258(66)0447  
 URL <http://www.eco-rice.jp/>  
 E-mail [office@eco-rice.jp](mailto:office@eco-rice.jp)



## 爆弾低気圧・最強寒波による想像を超えた大雪

その  
19

### Dr.Nobbyのセルフチェック健康

#### 📄 コロナとトリアージ [triage]



トリアージとは3分類という意味です。主に救急医療で救急搬送分類分けを意味します。

地震や爆発事故などのとき犠牲者が多く出ますと、誰を先に運ぶのかという課題に直面します。救急搬送優先順位を重症度により3段階に分け、医師等が色分け、ラベルを犠牲者のところに置きます。救急隊員は色分け順位で運びます。色分けは4分類です。まず「死亡している」が黒、「危険ですすぐ担送要」が赤、「危険だが赤が済んだら坦送」が黄、「待機しても可」が緑です。

この分類はあくまでも災害事故時ですが、今新型コロナ感染症でも必要となっています。誰を先に重症病床に入院させるか、そして誰を先に人工呼吸器、体外式膜型人工肺を装着するかの優先順位です。高価で人手がかなり掛かる機器をずらっと並べるのは無理で、数台が守備範囲です。新型コロナ感染症で死が迫っている方となると高齢者です。ほとんど寝たきりの高齢者が最優先となると頷けません。一般には生存可能が期待できる若い人に装着が妥当となります。

現に高齢者に機器を付ける・付けないで訴訟沙汰になっている事例もあります。機器設置のみならず重症病棟入院も関係します。何らかの法律が必要とされます。運転免許証に万が一死亡の場合、「臓器移植意思表示」の欄があるように、今回を機に「延命治療拒否意思表示」をマイナンバーカードにあらかじめ記録しておくような方法を検討すべきです。

 中村 信也 (なかむらの のぶや)

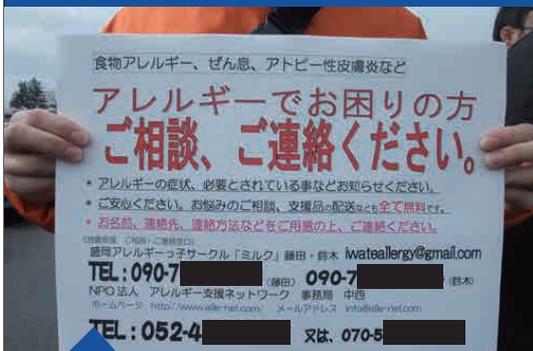
医学博士。東京家政大学名誉教授。まほろば東京クリニック院長。  
 「食と医療」の医療薬膳研究の第一人者。

# 来月で東日本大震災から10年



宮城県石巻市十三浜の(漁)浜人のわかめを使った非常食「勝太のわかめごはん」とわかめを育てる石巻のわかめ漁。たくましく復興

3月19日、支援物資を積んで運んだ岩手県陸前高田町の風景



岩手県、宮城県の避難所で食物アレルギーの支援を行いました。避難者に紛れてなかなか探せませんでした

2011年6月 津波のがれきが田んぼ一面に広がる

2013年8月 同じ田んぼで大豆が植えられていた

## 冬に欠かせない装備品



大雪になると雪道で車がはまり、進めなくなることがあります。そんな時、まずは自力で脱出するためにも常に車内に装備しているものがこれらです。

ご迷惑をおかけします



### 雪により配達が遅れが予想されます。

冬期間は、積雪による道路の渋滞などでお届けが遅れる場合があります。

運送会社の集荷・配達ストップしたり、指定日や時間にお届けできない可能性があります。

ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。